

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～

この度、令和2年4月に地域おこし協力隊として着任し4年間、観光支援員として活動されてきたチャン・レ・フン・タオさん。令和3年4月に着任し3年間、ICT支援員として活動されてきた伊藤章裕さん、同じくふるさと学習支援員として活動されてきた久保田智子さんの3人が、3月末の任期満了に伴い、地域おこし協力隊を退任されました。

退任にあたり、地域おこし協力隊の3人からあいさつ文の寄稿がありましたので、町民の皆さまにお知らせします。

↓地域おこし協力隊退任式



3月末をもって、地域おこし協力隊を退任しました。コロナの特例による任期延長も含め4年間、町民の皆さまをはじめ、多くの人たちに大変お世話になりました。

観光支援員として、町のお祭りや道内・道外の都市圏における地域特産品PRなどの活動を中心に、いろいろな経験をさせていただきました。

ベトナムから来たというところもあり、北海道での暮らしは私にとってすべての物事が新鮮でした。

また、いろいろな活動と業務をさせていただいたことで、以前自分ができるなと思った事を一つ一つチャレンジして、雄武町にいなければ出来なかった成長があり、自分にとっては貴重な経験だったと思います。

4月から雄武町を離れることになりましたが、体験したこと、食べた料理や見た風景を周りの人に紹介し、雄武町で得たものを糧に新しい土地で暮らしていきたいと思えます。今まで本当にありがとうございました。



地域おこし協力隊
観光支援員
タオさん

この度、私事で申し訳ございませんが、地域おこし協力隊を退任することになりました。

在任中は格別のご高配を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。おかげさまで無事今日を迎えることができましたのも、雄武町の皆さまのあたたかいご指導と、ひとかたならぬ厚情の賜と心より厚く感謝しております。

いたらぬ私ではございましたが、皆さまのおかげで大過なく勤めさせていただきました喜んでおります。これからは雄武町で出会った多くのすばらしい皆さまとの良き思い出を大切にしながら、皆様さまからご指導いただいた知識や経験をもち、新天地でもより一層充実した人生を歩んでまいりたいと思っております。

さらにまた、今後の人生の道に引き続きご指導ご厚誼を賜りますことを祈念してやみません。末筆ながらあらためて長年のご厚情に感謝するとともに皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。御礼かたがた退任のご挨拶にかえさせていただきます。



地域おこし協力隊
ICT支援員
伊藤 章裕さん

地域おこし協力隊の任期が満了し、退任することになりました。

3年という月日はあっという間で、振り返れば何をしていた？と考えることがあります。

小学校勤務では、旧豊丘小学校、3月末日に廃校となった旧共栄小学校、3年間のうちに2校が廃校となり、時代の変化、流れを感じます。

地域おこし協力隊として、雄武町全体での活動ができず、歯がゆい思いもありましたが、一部地域の活動では、放課後デイや食育活動を行うことができました。地域の皆さま、学校関係者、保護者の皆さまにはご協力いただき、感謝申し上げます。

今後は、スポーツにも力を入れ、特に幼児運動を中心に取り組んでいく予定です。食育を通し、子どもたちとの関わりをふやしていきたいと考えています。

3年間という短い期間ではありましたが、ご協力をいただきありがとうございました。



地域おこし協力隊
ふるさと学習支援員
久保田 智子さん

Everyone's infirmary

みんなの保健室

“がん”という病気について

【全国】がん死亡数の順位（2022年）

「人口動態統計がん死亡データ」より

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

【雄武町国民健康保険】がん患者数の順位（2022年）

「国保データベース」より

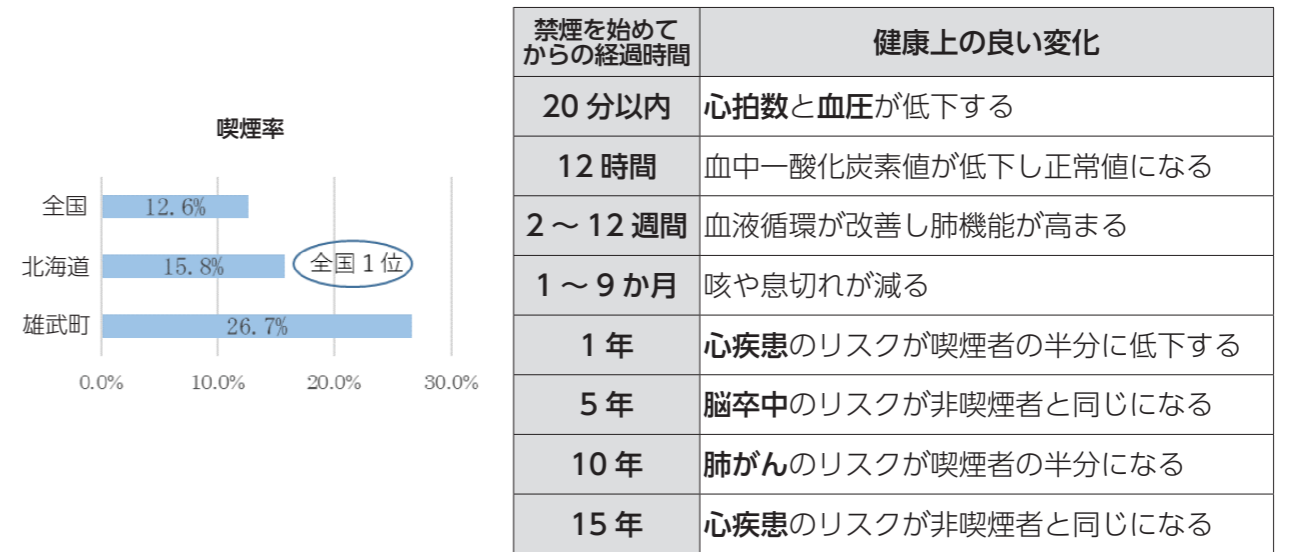
	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	大腸	胃	乳	肺	肝臓

※「その他」は順位から除く

医療費 1位

2. 「たばこ」と「がん」について

がんは、さまざまな要因によって発症していると考えられており、その中には予防できるものも多く含まれています。日本人では、男性のがんの43.3%、女性のがんの25.3%は、生活習慣や感染が原因で、がんになったと考えられています。そのうち大きな原因は、「喫煙」と「感染（ピロリ菌や肝炎等）」と報告されています。



喫煙者は、生涯たばこを吸わない人より、10年程度余命が短くなるという報告があります。ただし、35歳未満で禁煙すれば、たばこが原因で亡くなるリスクが下がり、健康に長生きできる可能性が高まることも報告されています。また、禁煙は、喫煙している本人だけでなく、受動喫煙による周りの人の健康への影響も減らすことができます。

3. がんは早期発見がカギ！がん検診を定期的に受けましょう

多くのがんは早期のうちに発見すれば9割は完治させることができますが、初期のがんは自覚症状がないため、早期に発見するには、定期的ながん検診を受けることが大切です。すでに症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

がん検診の詳細



集団検診の申し込み



関係保健課推進健康問